

令和2年度 千葉県視覚障害教育ネットワーク推進連絡協議会要項 (eyeあいねっと)

1 趣旨

視覚障害教育に関する情報提供及び情報交換を行い、千葉県内における視覚障害教育の推進・充実を図るとともに、よりよい体制づくりに資する。

2 対象

千葉県教育庁教育事務所担当指導主事
 関係市町村教育委員会担当指導主事
 関係特別支援学校コーディネーター
 関係小学校担当者
 関係中学校担当者
 関係医療機関担当者 等

3 方法

ネットワーク推進連絡協議会を開催し、各地区と情報交換を行う中で現状を把握し、課題解決に向けて協議を行う。本会議での協議内容を基にしながら、各地区の状況に合わせて視覚障害教育に対する理解や指導、支援などに具体的に取り組んでいく。

4 内容

- (1) 関係諸機関との連携推進
- (2) 県内の視覚障害児童生徒の現状把握
 - ・弱視学級や通級指導教室で支援を受けている児童生徒
 - ・支援を受けていない視覚障害児童生徒
 - ・視覚に障害があっても気づかれていない児童生徒
- (3) 視覚障害教育に関する各種研修
- (4) 「見え方のQ & A」冊子改訂に向けて

5 昨年度の主な内容

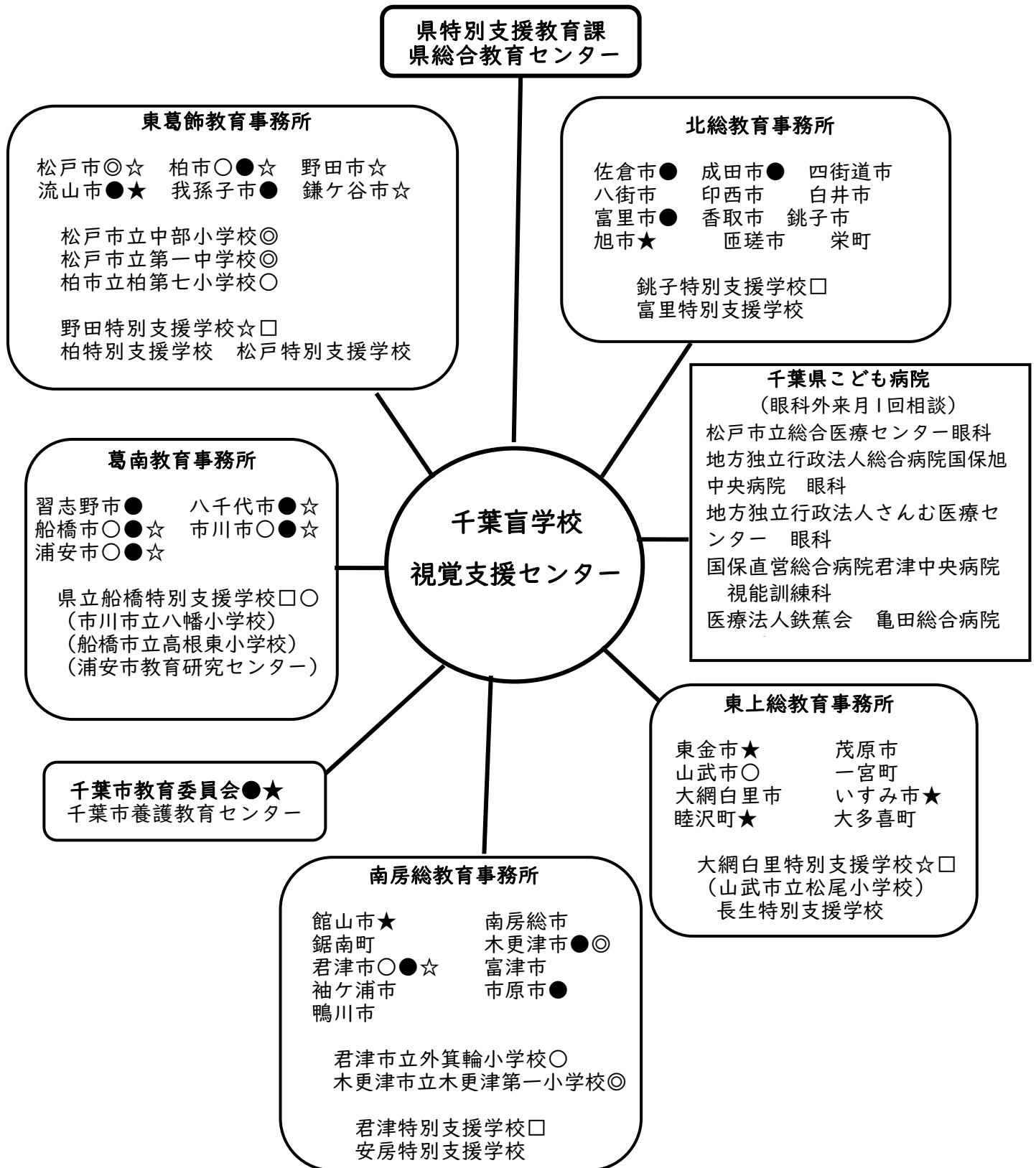
- 第1回 (1) 主な眼疾患と配慮事項、視力測定について
 (2) 拡大教科書等の申請について
- 第2回 (1) 見え方相談会の取組と支援のつながり
 (2) 高等学校入学試験での特別配慮申請と入学後の配慮について
- 第3回 (1) 「通級による指導(視覚障害)の実際と在籍学級との支援のつながり」
 (2) 「見え方のQ & A」冊子の改訂に向けたアンケート結果報告

6 令和2年度の予定 (会場は千葉聾学校)

- 第1回 6月 9日(火) 午前10:00～午後0:30 ⇒中止とします。
 第2回 2月12日(金) 午前10:00～午後0:30

7 eyeあいねっとのネットワーク図

- ◎:弱視特別支援学級を設置している市・学校
- :サテライト教室を設置している市・学校
- :通級指導教室に通っている児童生徒がいる市町村
- ☆:見え方相談会を主催している市教委・学校
- ★:見え方相談会に協力していただいている市教委
- :視覚障害教育支援機能指定のある特別支援学校



千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進連絡協議会(うさぎねっと)開催要項

千葉県立千葉聾学校

1 趣旨

聴覚障害教育に関する情報交換を行い、千葉県における聴覚障害教育の推進・充実を図るとともに、よりよい体制に資する。

2 参加機関

- 平成23年度 : 県教育委員会特別支援教育課、県総合教育センター、各教育事務所、市教委、各地区の聴覚支援の特別支援学校、難聴学級
- 平成24年度 : 前年度+筑波大学附属聴覚特別支援学校、千葉市療育センター、千葉県こども病院耳鼻咽喉科、小張総合病院小児難聴言語外来等
- 平成25年度 : 前年度+千葉市養護教育センター等
- 平成26年度以降 : 前年度+筑波技術大学、県内全ての難聴学級等

令和元年度 93機関の参加

3 方法

年3回千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進連絡協議会を開催し、各地区の情報交換を行う中で、現状把握、課題確認、課題解決の方向性の協議等を行う。本会議の中での協議内容を基にしなが、各地区の状況に合わせて具体的に組みんでいく。

4 協議内容

- (1) 県内の聴覚に障害のある幼児児童生徒の現状把握
 - ・難聴・言語学級(通級指導教室)等で支援を受けている児童生徒について
 - ・支援を受けていない聴覚に障害のある児童生徒について
 - ・聴覚に障害があっても気付かれていない幼児児童生徒の掘り起こし
- (2) 学校における環境整備
 - ・聴覚障害と聴覚障害児童生徒への理解
 - ・基礎的環境整備と合理的配慮に関すること
 - ・教職員の研修
- (3) 地域で聴覚障害教育を担う教員の研修
 - ・難聴・言語特別支援学級、難聴・言語通級指導教室担当等への研修
- (4) その他
 - ・関係諸機関(保健センター、幼稚園、保育園、小中高等学校、医療機関等)との連携

5 昨年度の主な会議内容

- (1) 第1回 趣旨説明、聴覚障害に関する情報提供、現状報告、今年度の取組、等
- (2) 第2回 聴覚障害に関する情報提供、千葉聾学校参観、テーマに関する情報交換、等
- (3) 第3回 聴覚障害に関する情報提供、今年度の取組の成果と課題、等

6 昨年度の協議の柱

全体テーマを「きこえにくい子へのよりよい環境整備を目指して～それぞれの立場で考える～」とし、第1回は地区別、第2回、第3回は機関別の協議を行った。

7 令和2年度の予定

(会場は千葉聾学校)

第1回	6月9日(火)	13:30~16:30	(中止)
第2回	10月28日(水)	13:30~16:30	
第3回	2月12日(金)	13:30~16:30	

参考資料

1 令和2年度 千葉県聴覚障害教育ネットワーク体制案

下記にネットワークの関係図を表す。

★印は、聴覚のサテライト教室がある市町村
 (★0)は県立千葉聾学校、
 (★1)は県立船橋特別支援学校、
 (★2)は県立安房特別支援学校館山聾分校、
 (★3)は県立大網白里特別支援学校、が担当

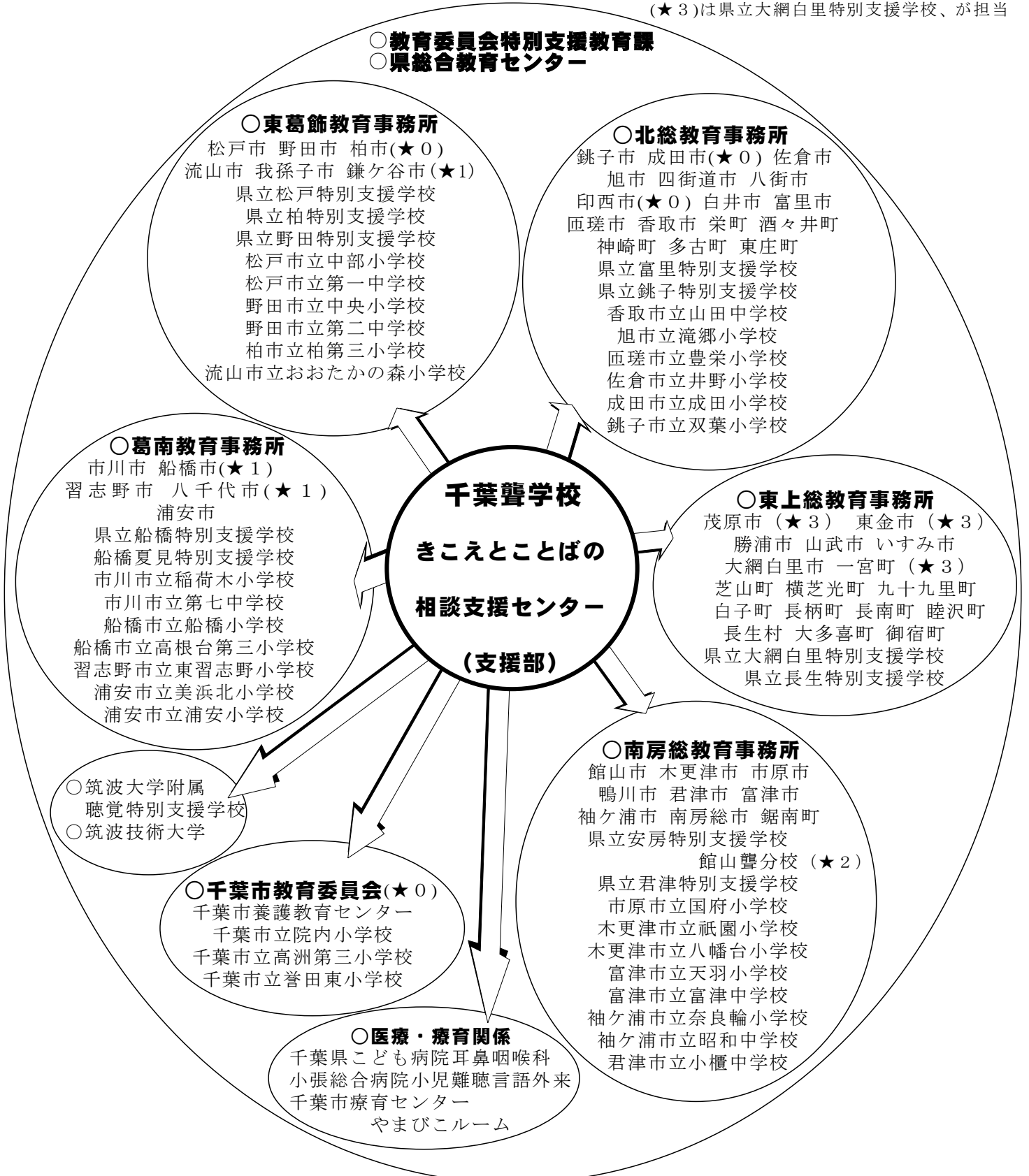


図1 聴覚障害教育のネットワーク関係図

2 各教育事務所内の体制案

各教育事務所内の関係を示す。難聴学級のない地区は言語学級がその役割を果たす。また、サテライト教室は、その地区との連携を深める。

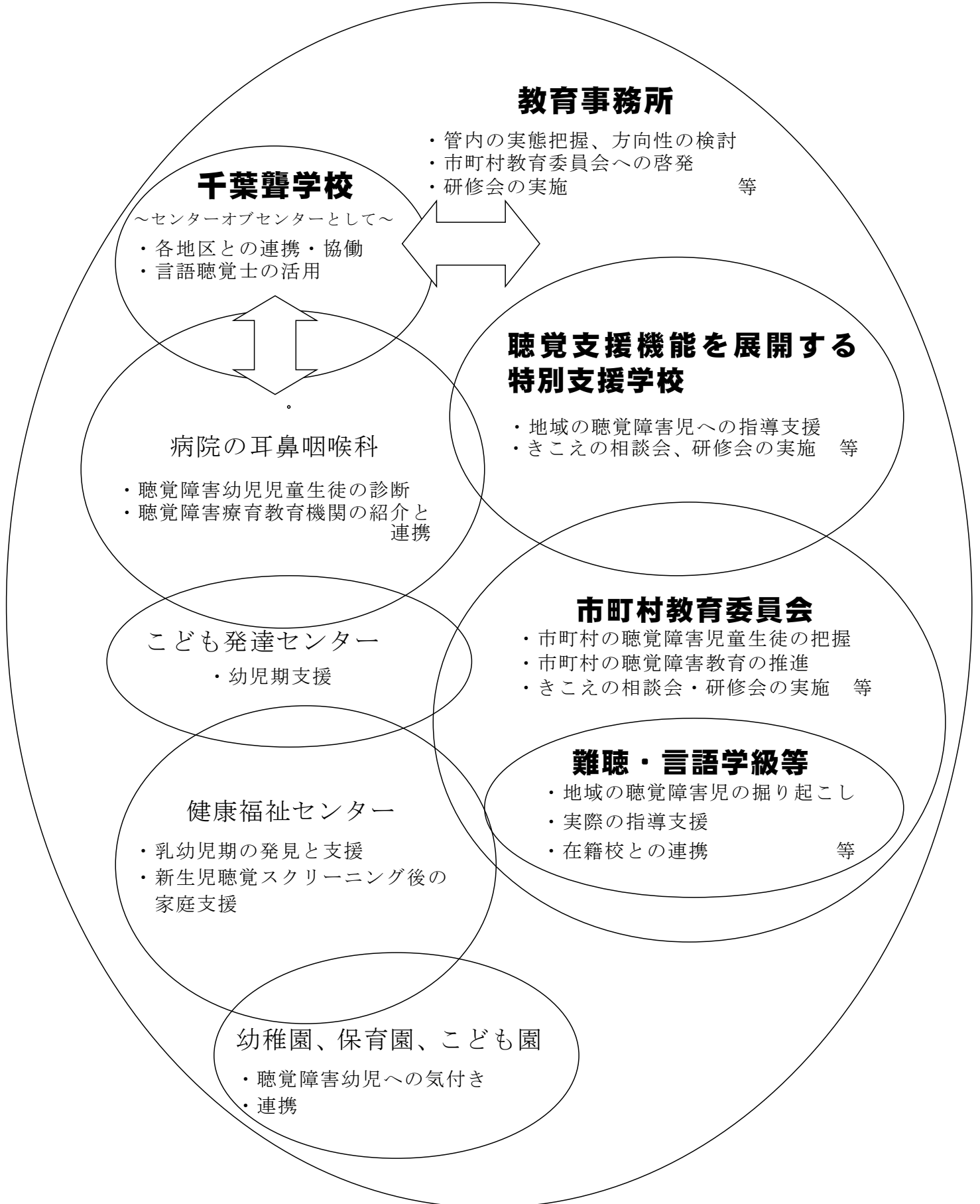


図2 各教育事務所の聴覚障害教育体制

令和2年度 就労支援コーディネーターの在籍校及びネットワーク組織と役割

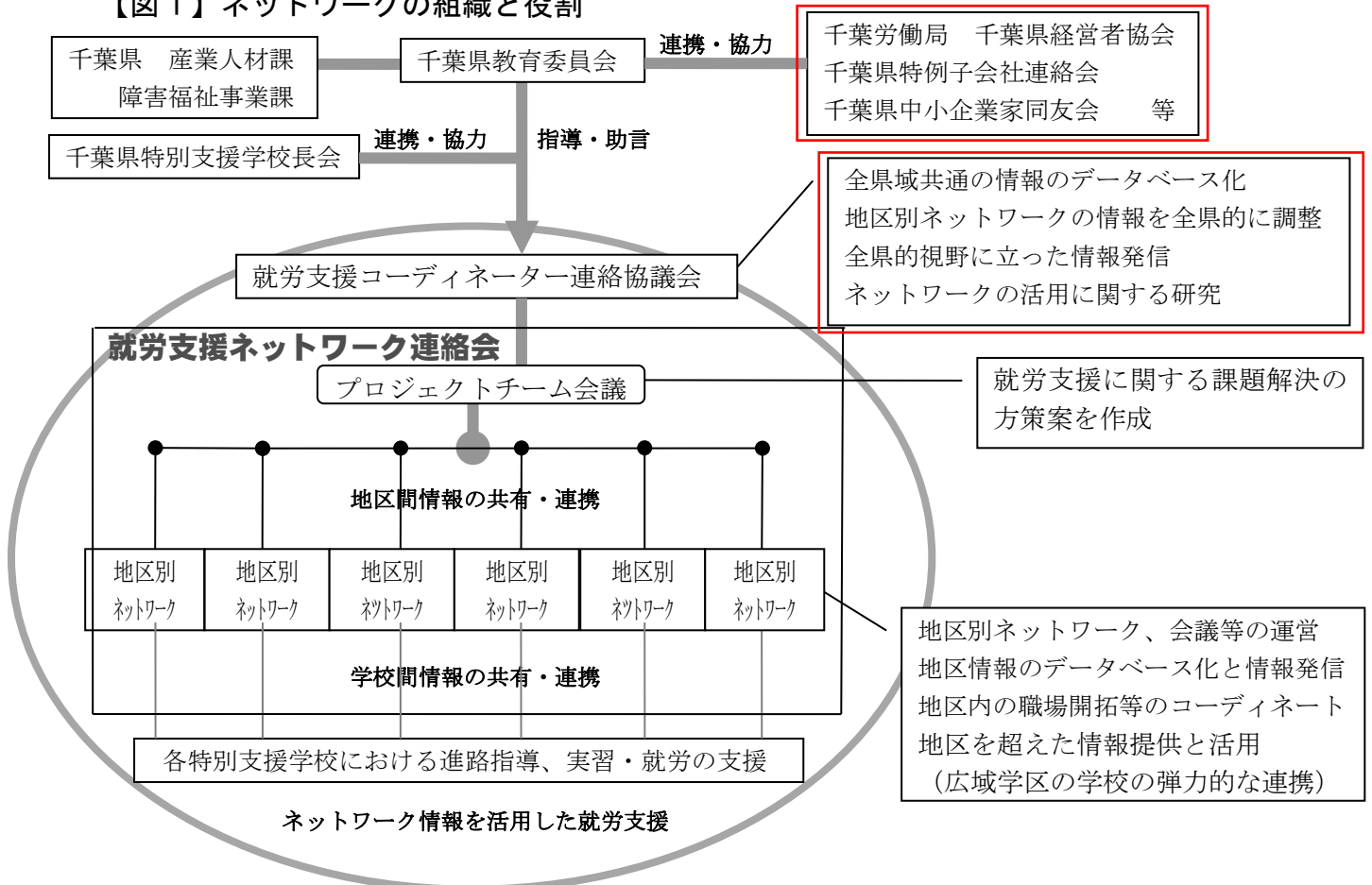
【表1】 就労支援コーディネーターの在籍校と人数

(太文字が就労支援コーディネーター在籍校 ○数字は人数 29校32名)

地区		東葛飾	葛南	北総	南房総	東上総	千葉
指名校	幹事校	流山 (統括校)③	市川大野 ②	印旛 ①	市原 ①	大網白里 ①	千葉 ①
	副幹事校	柏 ① 我孫子 ①	八千代 ① 市川 ①	八日市場 ①	安房 ①	東金 ①	千葉豊 ①
ネットワーク 構成校		松戸 つくし ① 野田 ① 湖北 ① 矢切 ①	船橋夏見 船橋市立 ①※ 市川市立 ①※	銚子 富里 ① 香取 ① 飯高 ① 栄 ①	君津 ① 楨の実 ①	夷隅 ① 長生	桜が丘・仁戸名 袖ヶ浦・千葉盲 四街道 千葉市立 ①※ 千葉高等 ①※ 千大附属※
ハローワークエリア		野田・松戸	市川・船橋	銚子・佐原 成田	館山・千葉 南 木更津	茂原・夷隅 千葉・千葉南	千葉・千葉 南
		※ネットワークの広域活用 千葉盲、千葉豊、仁戸名、四街道、流山、市原・分校、市川大野、我孫子・分校、 印旛・分校、柏・分教室、安房・分校、大網白里、湖北					

※千葉市立：千葉市立養護学校 千葉高等：千葉市立高等特別支援学校 船橋市立：船橋市立船橋特別支援学校
市川市立：市川市立須和田の丘支援学校 千大附属：千葉大学教育学部附属特別支援学校

【図1】 ネットワークの組織と役割



はばたくチャンス を障害のある生徒に！

～障害者の就労に向けてのお願い～



＜飲食店での調理補助＞



＜小売り店での品出し＞



＜倉庫内の清掃作業＞



＜機器の解体作業＞

千葉県内の特別支援学校で学ぶ生徒は、社会的・職業的自立を目指し、卒業後、職場で自分の力を発揮できるように、学習や運動、「産業現場等における実習（現場実習）」に懸命に取り組んでいます。

障害のある生徒の就労に御理解をお願いいたします。

千葉県教育委員会

千葉県特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会

特別支援学校とは、こんな学校です。

特別支援学校とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な指導や必要な支援を行っている学校です。

一人一人の実態に応じた適切な教育が受けられるように、障害の種類に合わせた学校があります。

小学部・中学部・高等部を設置し、さらに幼稚部のある学校や高等部に専門学科、専攻科を置く学校もあります。また、病院や家庭に教師が訪問し、教育を行っている学校もあります。

※特別支援学校には盲学校や聾学校も含まれます。

■障害の種類と特性・配慮点

障害の種類	障害の特性・配慮点
視覚障害	見えない、見えにくいなどの障害があり、文字など視覚的な情報が得にくい場合があります。視力、視野、色覚、光覚など、「見え方」に合わせた支援機器を活用することで、仕事の幅が広がります。
聴覚障害	聞こえない、聞こえにくいなどの障害があり、コミュニケーション手段が限られる場合があります。筆談やサインなどの手段を活用することが、スムーズなコミュニケーションにつながります。
知的障害	知的な発達に遅れがあり、複雑な内容や抽象的な表現を理解することが困難な場合があります。わかりやすい言葉を用いたり、見通しがもてるように手順表や手本を示したりすることで作業の理解がしやすくなります。
肢体不自由	手や足や体幹の障害、運動機能等の障害により、移動や作業に制限がありますが、机・作業台の高さや広さ、トイレ、エレベーターなど環境面での配慮をすることで、仕事の幅が広がります。
病弱	心臓や腎臓など身体の内部機能などに障害があり、外見からはわかりにくく、治療器具の使用や継続的な通院での治療が必要であったり、疲れやすい傾向があったりします。勤務時間、在宅勤務等を配慮することで就労の可能性が広がります。



■特別支援学校の高等部卒業生の進路状況

種別	年度		
	平成29	平成30	令和元
卒業生総数(人)	1,048	1,032	985
進学・施設利用等(人)	629	610	626
就職(人)	419	422	359
就職率(%)	40.0	40.9	36.4
就職希望者の就職率(%)	93.5	95.3	97.3



特別支援学校では「個別の教育支援計画」を作成し、一人一人の生徒を支援するネットワークを構築し教育を進めています。

●現場実習のステップ

高等部1年 「自分や会社を知る」 職場見学 職場体験 校内実習 現場実習等	高等部2年 「自分の適性を見つける」 現場実習 前期：6月～7月頃 後期：9月～12月頃 1事業所：生徒1名2週間程度	高等部3年 「自分の進路を決める」 現場実習 前期：6月～7月頃 後期：9月～12月頃 1事業所：生徒1名2週間程度
---	---	--

●現場実習の流れ

	事前学習		現場実習期間 (2週間程度)	事後学習
生徒 保護者	・進路学習	・事業所見学 ・面接	・現場実習 (実習日誌)	・面談、課題把握 ・進路学習
教員 (学校)	・職場開拓 ・職場訪問 ・現場実習依頼	・打合せ ・実習契約 (依頼書) (契約書)	・現場実習先巡回 (指導・記録) ・現場実習評価聴取 (評価票)	・移行支援会議 (事業所、本人、 保護者、支援機関 と卒業時に実施)

●現場実習・雇用受入れ事例

事例① 事業主の方へのインタビュー
 (カンダコーポレーション株式会社・東金市)
 就労意欲のある生徒に対して働く場の提供
 をしています。体験や実習では、意欲的に取
 り組んでくれました。
 雇用後は支援の方法等について支援機関に
 助言を頂いています。発泡箱の洗浄、整頓、
 無線での構内職員への連絡係など、誰よりも
 頑張ってくれていて本当にありがたいです。



この会社を選んだ理由は、体を動か
 す仕事が自分に合っていたからです。
 また、実習中から頼りにしてもらえた
 ことも嬉しかったです。
 忙しくて大変だと感じることもあり
 ますが、自分に合っている仕事なので
 今後も続けたいです。
 相談しながら、スムーズに仕事を進
 められるようになりたいです。

事例② 事業者の方へのインタビュー
 (株式会社フライングガーデン・千葉ニュータウン店)
 仕事の内容は食器の洗浄、サラダ類の盛り付け、清掃作業です。
 はじめのうちは自分の担当以外の仕事に気
 をとられていることがありましたが、支援
 機関の助言を取り入れ、仕事内容をホワイト
 ボードに順番に示しておくようにしまし
 ました。すると、集中して取り組むことができ、
 平日のみの勤務から、忙しい土日の勤務も
 入れるようにもなりました。



この会社を選んだ理由は、レストラ
 ンで働きたいと思っていたからです。
 店長やスタッフの皆さんが温かく、
 接してくださったこともあり、一年間
 頑張ることができました。
 自宅からも近く通勤もしやすいの
 で、現在の短期間勤務から、長時間勤
 務になれるように、がんばります。

千葉県特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会構成校

●現場実習や採用についての詳細は、各学校の進路指導担当までお問い合わせください。

東葛地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	松戸特別支援学校	肢体 047-388-2128
2	県	つくし特別支援学校	知的 047-385-1632
3	県	矢切特別支援学校	知的 047-312-3010
4	県	柏特別支援学校	知的 04-7133-5631
		流山分教室	知的 04-7152-1671
5	県	特別支援学校流山高等学園	知的 04-7148-0200
		第二キャンパス	知的 04-7141-9900
6	県	野田特別支援学校	知的 04-7122-7270
7	県	我孫子特別支援学校清新分校	知的 04-7193-6020
8	県	湖北特別支援学校	知的 04-7188-0596

葛南地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	八千代特別支援学校	知的 047-450-6321
2	県	船橋夏見特別支援学校	肢体 047-429-6699
3	県	市川特別支援学校	知的 047-327-4155
4	県	特別支援学校市川大野高等学園	知的 047-303-8011
5	市	船橋市立船橋特別支援学校	知的 047-457-2111
6	市	市川市立須和田の丘支援学校	知的 047-371-2258

北総地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	印旛特別支援学校	知的 0476-98-2200
		さくら分校	知的 043-486-3781
2	県	富里特別支援学校	知的 0476-92-2100
3	県	栄特別支援学校	知的 0476-80-2500
4	県	香取特別支援学校	知的 0478-72-2911
5	県	銚子特別支援学校	知的 肢体 0479-22-0243
6	県	八日市場特別支援学校	知的 0479-72-2777
7	県	飯高特別支援学校	知的 0479-70-5001

南房総地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	安房特別支援学校	知的 0470-28-1866
		館山聾分校	知的 弱聴 0470-27-2490
2	県	君津特別支援学校	知的 0439-55-4333
3	県	楨の実特別支援学校	知的 0438-62-1164
4	県	市原特別支援学校	知的 0436-43-7621
		つるまい風の丘分校	知的 0436-92-5281

東上総地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	東金特別支援学校	知的 0475-52-2542
2	県	大網白里特別支援学校	知的 0475-70-5000
3	県	長生特別支援学校	知的 0475-42-2470
4	県	夷隅特別支援学校	知的 0470-86-4111

千葉地区			
No.	設置	学校名	障害種別 電話番号
1	県	千葉聾学校	聴覚 043-291-1371
2	県	桜が丘特別支援学校	肢体 043-231-1449
3	県	仁戸名特別支援学校	病弱 043-264-5400
4	県	袖ヶ浦特別支援学校	知的 肢体 043-291-6922
5	県	千葉特別支援学校	知的 043-257-3909
6	県	千葉盲学校	視覚 043-422-0231
7	県	四街道特別支援学校	病弱 043-422-2609
8	市	千葉市立養護学校	知的 043-265-9293
9	市	千葉市立高等特別支援学校	知的 043-388-0133
10	国	千葉大学教育学部附属 特別支援学校	知的 043-258-1111

「千葉県特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会」とは？

千葉県内の特別支援学校間で就労支援に関する連絡・調整を図るため、県内を6地区に分け、地区内の学校同士やハローワーク、障害者就業・生活支援センター等の関係機関との連携を図りつつ、全県的な視野で就労支援を推進するネットワークです。



千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課 TEL 043-223-4045